

## 実績の推移

## 1. ごみ排出量等の実績

## (1) ごみ排出量

本市におけるごみ排出量については、生活系ごみ、事業系ごみともに平成30年度と比較して、減少傾向にあります。

本市におけるごみ排出量の推移は次のとおりです。

表-1 ごみ排出量の推移

年 度		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
人	口 (人)	37,795	37,243	36,670	36,124	35,637
生活系ごみ	(t/年)	11,013	11,028	11,035	10,759	10,372
燃やせるごみ	(t/年)	8,285	8,268	8,053	7,840	7,640
燃やせないごみ	(t/年)	1,731	1,719	1,852	1,805	1,700
びん・ガラス類	(t/年)	415	398	409	387	380
金属・空き缶類	(t/年)	415	434	519	502	439
廃プラスチック類	(t/年)	804	792	823	816	780
ペットボトル	(t/年)	97	95	101	100	101
資源ごみ	紙類 (t/年)	652	656	680	671	644
粗大ごみ	(t/年)	345	385	450	443	388
可燃性粗大ごみ	(t/年)	190	206	226	206	184
不燃性粗大ごみ	(t/年)	155	179	224	237	204
事業系ごみ	(t/年)	3,759	3,619	3,340	3,352	3,109
燃やせるごみ	(t/年)	3,737	3,598	3,319	3,330	3,088
燃やせないごみ	(t/年)	22	21	21	22	21
びん・ガラス類	(t/年)	16	16	15	15	12
金属・空き缶類	(t/年)	6	5	6	7	9
集団回収	(t/年)	271	258	256	255	226
場内浄化槽汚泥等	(t/年)	22	5	6	4	3
合 計	(t/年)	15,065	14,910	14,637	14,370	13,710

## (2) 1人1日あたりのごみ排出量

本市における1人1日あたりのごみ排出量は、令和4年度で1,054.0g/人・日であり、1人あたりのごみ排出量は、平成30年度の1,092.0g/人・日と比較して減となっていますが、全国平均の879.8g/人・日（令和4年度）、徳島県の941.4g/人・日（令和4年度）を上回っています。

本市における1人1日あたりのごみ排出量の推移は次のとおりです。

表-2 1人1日あたりのごみ排出量の推移

年度		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
人 口	(人)	37,795	37,243	36,670	36,124	35,637
生活系ごみ	(g/人・日)	798.3	809.0	824.5	816.0	797.4
燃やせるごみ	(g/人・日)	600.6	606.6	601.7	594.6	587.4
燃やせないごみ	(g/人・日)	125.5	126.1	138.4	136.9	130.7
びん・ガラス類	(g/人・日)	30.1	29.2	30.6	29.4	29.2
金属・空き缶類	(g/人・日)	30.1	31.8	38.8	38.1	33.7
廃プラスチック類	(g/人・日)	58.3	58.1	61.5	61.9	60.0
ペットボトル	(g/人・日)	7.0	7.0	7.5	7.6	7.8
資源ごみ 紙類	(g/人・日)	47.3	48.1	50.8	50.9	49.5
粗大ごみ	(g/人・日)	25.0	28.2	33.6	33.6	29.8
可燃性粗大ごみ	(t/年)	13.8	15.1	16.9	15.6	14.1
不燃性粗大ごみ	(t/年)	11.2	13.1	16.7	18.0	15.7
事業系ごみ	(g/人・日)	272.5	265.5	249.5	254.2	239.0
燃やせるごみ	(g/人・日)	270.9	264.0	248.0	252.6	237.4
燃やせないごみ	(g/人・日)	1.6	1.5	1.6	1.7	1.6
びん・ガラス類	(g/人・日)	1.2	1.2	1.1	1.1	0.9
金属・空き缶類	(g/人・日)	0.4	0.4	0.4	0.5	0.7
集団回収	(g/人・日)	19.6	18.9	19.1	19.3	17.4
場内浄化槽汚泥等	(g/人・日)	1.6	0.4	0.4	0.3	0.2
合 計	(g/人・日)	1,092.0	1,093.8	1,093.6	1,089.9	1,054.0

※1人1日当たりのごみ排出量＝ごみ排出量÷365日÷人口（令和元年度は366日）

※端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

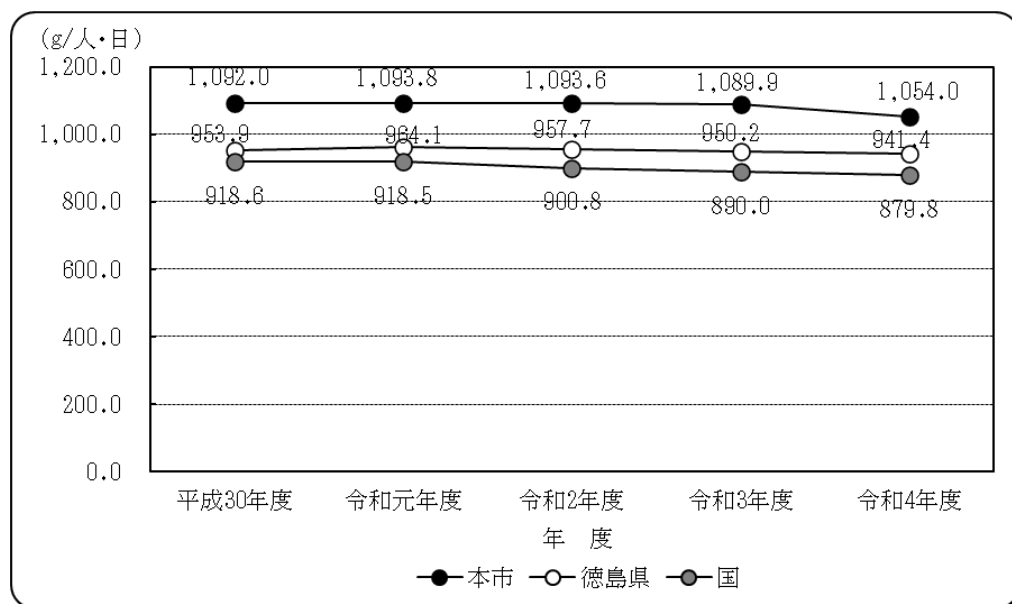


図-1 1人1日あたりのごみ排出量の比較

(3) ごみ排出量等のグラフ

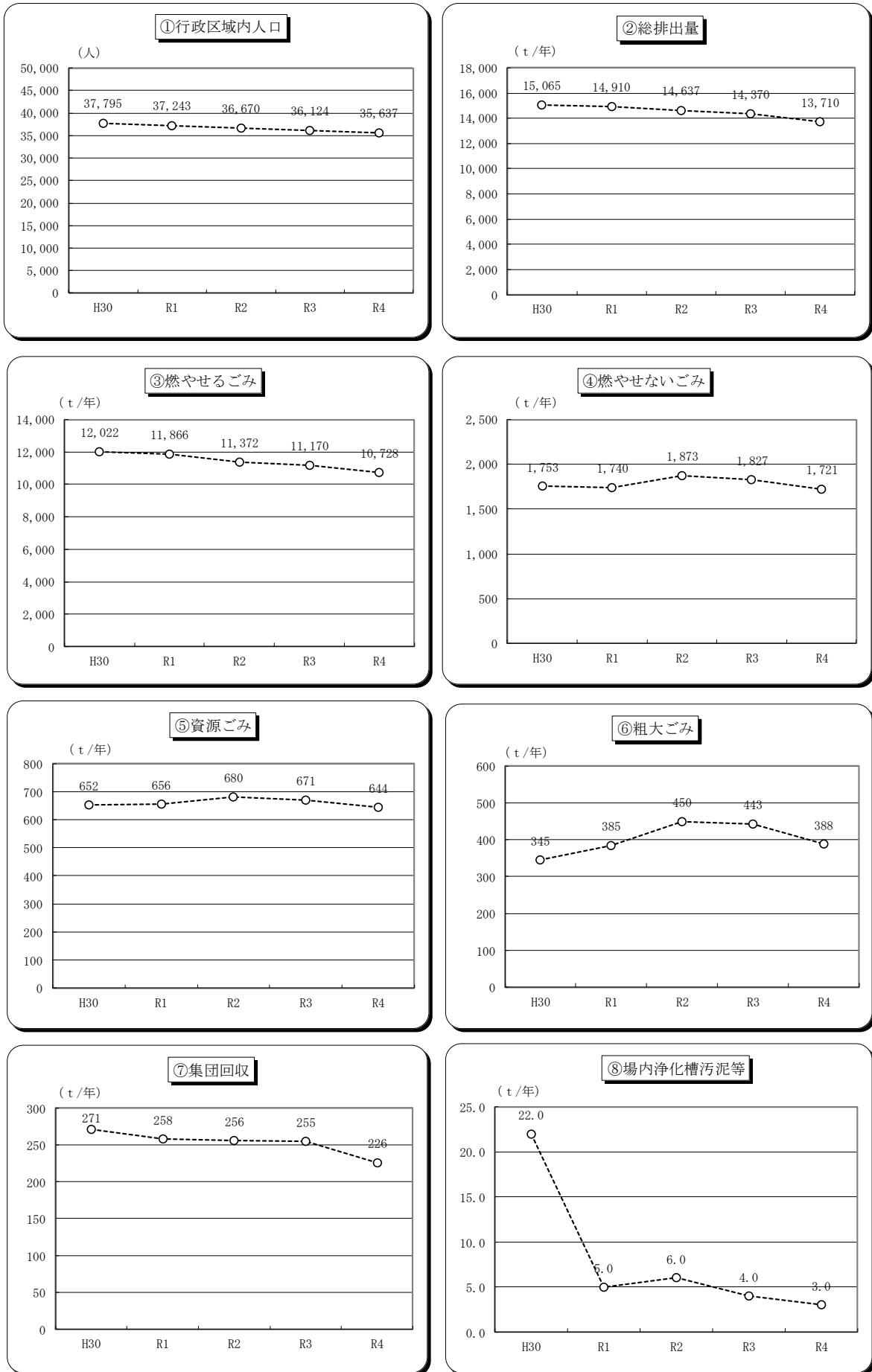


図-2 分類別ごみ排出量の推移

#### (4) 資源化量の推移

ごみの資源化については、令和4年度のリサイクル率は平成30年度と同程度であり、全国及び徳島県と比較しても低い現状となっています。

ごみの資源化量の推移は次のとおりです。

表-3 ごみの資源化量の推移

項目		年度	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
資源化処理 ガラス類 (資源化事業者)	無色ガラス	(t/年)	133	123	128	121	112
	茶色ガラス	(t/年)	157	156	156	145	150
	その他ガラス	(t/年)	36	31	34	33	26
	廃蛍光管	(t/年)	2	2	2	2	1
	小計	(t/年)	328	312	320	301	289
資源化処理 金属類 (資源化事業者)	スチール	(t/年)	84	74	74	63	54
	アルミ	(t/年)	37	39	43	53	56
	その他金属	(t/年)	155	163	200	199	181
	小計	(t/年)	276	276	317	315	291
資源化処理 プラスチック類 (資源化事業者)	ペットボトル	(t/年)	86	91	100	99	100
	プラスチック原料	(t/年)	24	24	24	24	24
	RPF(固形燃料)	(t/年)	329	305	331	324	288
	小計	(t/年)	439	420	455	447	412
直接資源化 (資源化事業者)	新聞	(t/年)	264	245	241	209	237
	雑誌	(t/年)	207	222	223	222	180
	段ボール	(t/年)	181	189	216	240	227
	小計	(t/年)	652	656	680	671	644
集 団 回 収	(t/年)	271	258	256	255	226	
資 源 化 量 合 計	(t/年)	1,966	1,922	2,028	1,989	1,862	
ご み 処 理 量	(t/年)	15,065	14,910	14,637	14,370	13,710	
リ サ イ ク ル 率	(%)	13.1	12.9	13.9	13.8	13.6	

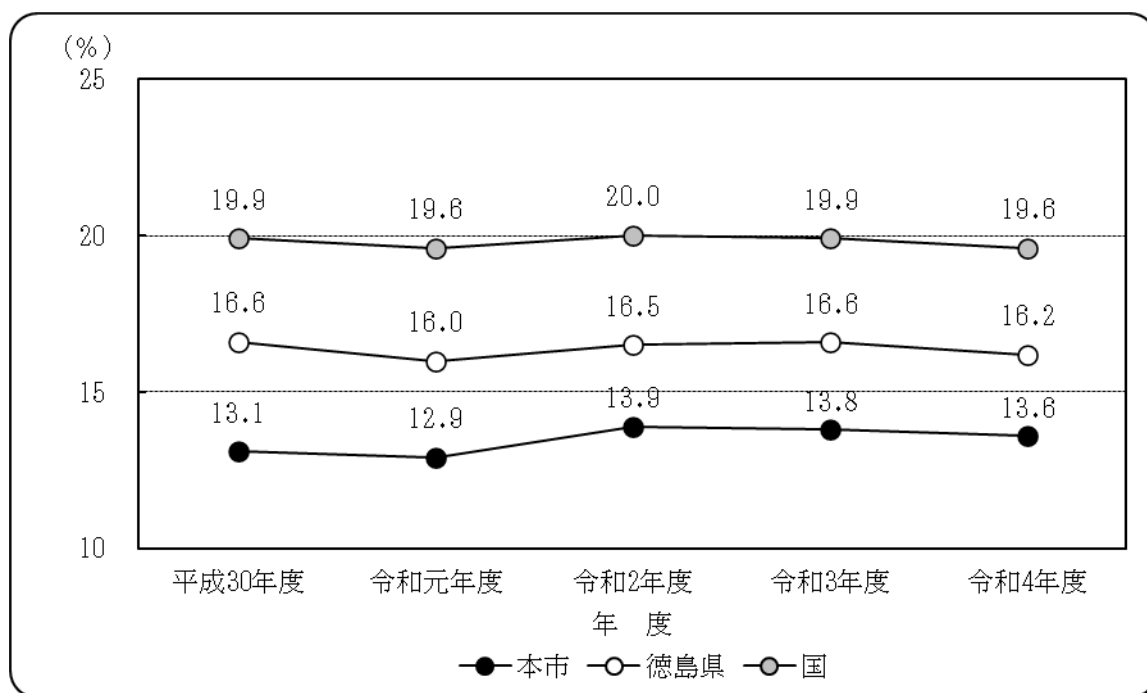


図-3 リサイクル率の比較

## (5) 最終処分量の推移

本市の最終処分は赤石地区一般廃棄物最終処分場において、焼却灰、資源化事業者における廃プラスチックの焼却残渣、ヤード選別後の選別残渣（不燃性残渣）及び場内浄化槽汚泥等の最終処分を行っています。最終処分量については、総じて減少傾向にあります。最終処分率についても減少傾向にあり、徳島県の平均と同程度ですが、全国平均を上回っています。

最終処分量の推移は次のとおりです。

表-4 最終処分量の推移

項目	年度	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
焼却灰	(t/年)	1,538	1,385	1,272	1,239	1,156
廃プラスチックの焼却残渣 (資源化事業者における資源化処理後)	(t/年)	43	47	47	47	47
不燃性残渣 (ヤード選別後)	(t/年)	248	267	313	298	135
場内浄化槽汚泥等	(t/年)	22	5	6	4	3
最終処分量合計	(t/年)	1,851	1,704	1,638	1,588	1,341
ごみ処理量	(t/年)	15,065	14,910	14,637	14,370	13,710
最終処分率	(%)	12.3%	11.4%	11.2%	11.1%	9.8%

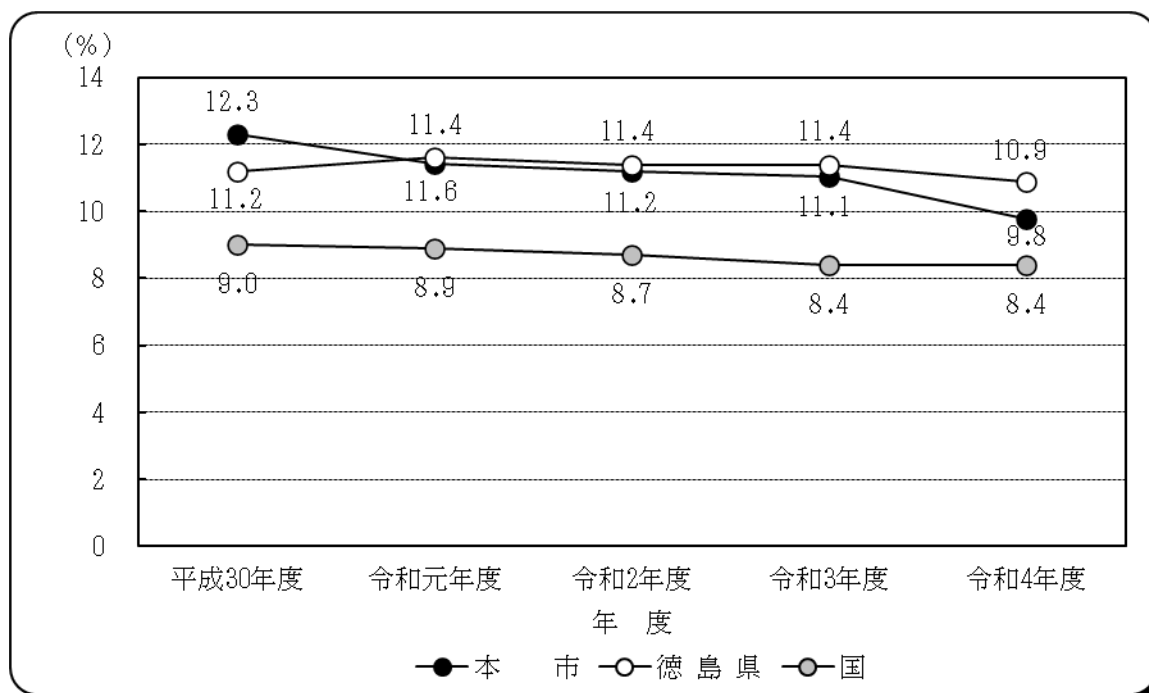


図-4 最終処分量の比較

## 2. 生活排水処理人口等の実績

### (1) 生活排水処理人口

本市における処理形態別人口をみると、水洗化・生活雑排水処理人口は、浄化槽の設置・転換の推進に伴い、計画期間中において増加し、水洗化・生活雑排水未処理人口は減少しています。

本市における生活排水に係る処理形態別人口の推移は次のとおりです。

表-5 処理形態別人口の推移

年 度		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
計 画 処 理 区 域 内 人 口	(人)	37,795	37,243	36,670	36,124	35,637
水洗化・生活雑排水処理人口	(人)	12,848	13,766	14,205	14,651	14,922
公共下水道人口	(人)	—	—	—	—	—
農業集落排水施設人口	(人)	—	—	—	—	—
合併浄化槽人口	(人)	12,848	13,766	14,205	14,651	14,922
コミュニティプラント人口	(人)	—	—	—	—	—
水洗化・生活雑排水未処理人口 (みなし浄化槽人口)	(人)	23,510	22,062	21,072	20,101	19,361
非水洗化人口(計画収集人口)	(人)	1,437	1,415	1,393	1,372	1,354
し尿処理人口	(人)	1,437	1,415	1,393	1,372	1,354
自家処理人口	(人)	0	0	0	0	0
水洗化率 <sup>*1</sup>	(%)	96.2	96.2	96.2	96.2	96.2
生活排水処理率 <sup>*2</sup>	(%)	34.0	37.0	38.7	40.6	41.9

\*1 水洗化率 = (水洗化・生活雑排水処理人口 + 水洗化・生活雑排水未処理人口) ÷ 計画処理区域内人口 × 100

\*2 生活排水処理率 = 水洗化・生活雑排水処理人口 ÷ 計画処理区域内人口 × 100

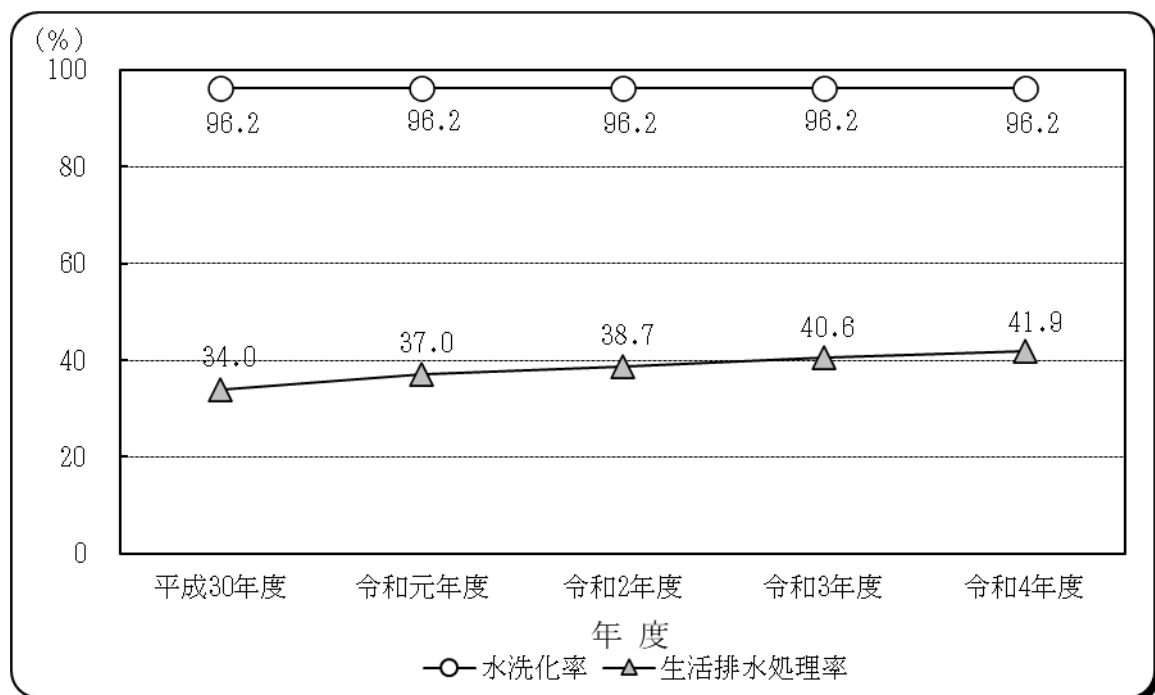


図-5 水洗化率及び生活排水処理率の推移

## (2) 発生原単位の推移

し尿及び浄化槽汚泥の発生原単位（1人1日当たりの排出量）については、収集量及び処理形態別人口の実績を用いて算出を行いました。

計画期間において、し尿は減少し、浄化槽汚泥は増減を繰り返しています。

し尿及び浄化槽汚泥の発生原単位の推移は次のとおりです。

表-6 し尿及び浄化槽汚泥の発生原単位の推移

項目		年度	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
収集処理人口		(人)	37,795	37,243	36,670	36,124	35,637
し尿		(人)	1,437	1,415	1,393	1,372	1,354
浄化槽汚泥		(人)	36,358	35,828	35,277	34,752	34,283
1人平均処理量	し尿	(kl/人・年)	0.86	0.84	0.79	0.78	0.73
	浄化槽汚泥	(kl/人・年)	0.45	0.46	0.49	0.48	0.51
発生原単位 (1人1日当たりの 排出量)	し尿	(ℓ/人・日)	2.36	2.29	2.18	2.12	1.99
	浄化槽汚泥	(ℓ/人・日)	1.24	1.25	1.34	1.31	1.41

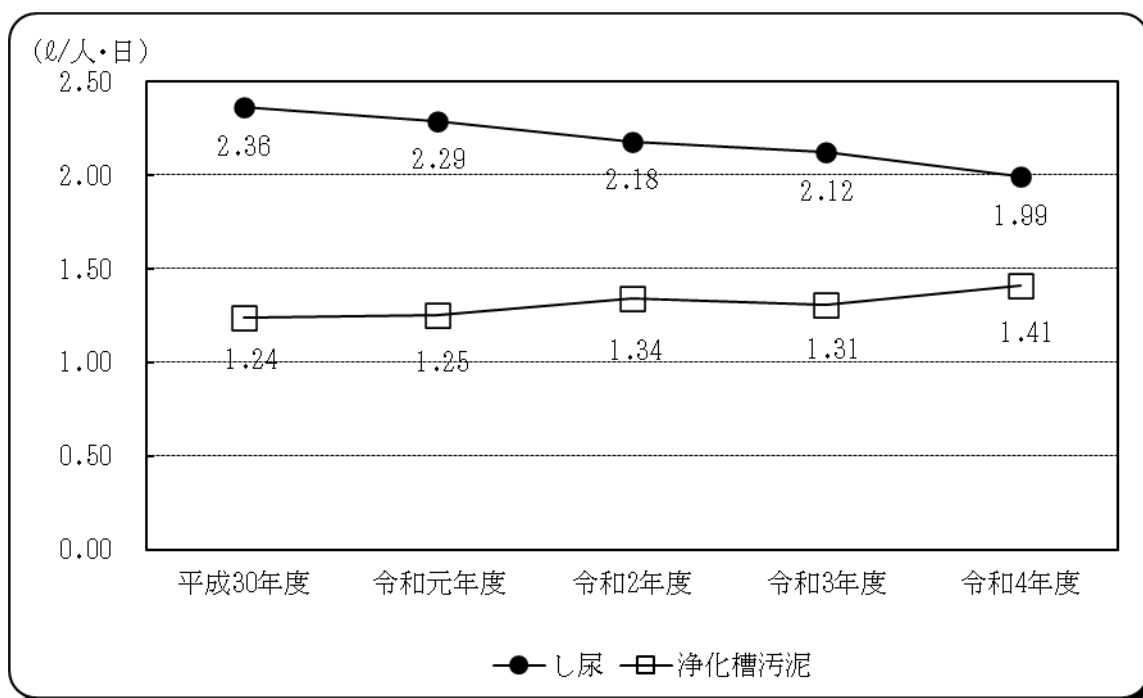


図-6 し尿及び浄化槽汚泥の発生原単位の推移